

四日市市立水沢小学校

学校だより

令和8年5月28日 第12号



グランドデザイン めざす子どもの姿「ともに考え ともに学ぶ子」

めざす子どもの姿

ともに考え ともに学ぶ子

自分もなかまも大切に

心身ともにたくましい子

あいさつができる子

発見！水沢っ子の素敵な姿!!～学びに向かう子どもたちの素敵な姿です！～

引き続き、6年生、4年生、1年生の様子です。授業の中の一場面の様子ですが、子どもたちは、日々、学びに向かっています。一生懸命、課題に取り組んだり思いや考えを聴き合ったりする姿が素晴らしいなあと思っています。

6年生 アウトプットから学びへ



6月12日(金)に久留倍官衙遺跡への見学を控えている6年生。見学のしおりで、見学のねらいや持ち物などを確かめるとともに、事前に見学の目的地のことについて、調べ学習をしていました。しおりを見ると、何やら選択肢が書かれているものもありました。一人ひとりが調べたことを同じ班のメンバーで交流し合い、まとめたことを単に発表し合うのではなく、クイズ形式にすることで、ほかの班のなかまの学びにつながればと、それぞれが工夫を凝らして考

えていました。このクイズは、当日のバスの中で出題され、目的地に到着するまでの間、新たな事前学習としての知識が得られるしくみになっているようです。学んだことをどのようにアウトプットしていくか、楽しみながら学ぶために、6年生なりに工夫を凝らしている素敵な姿でした。



4年生 次の展開を期待する子どもたち



国語科で文学の学習の場面です。今日は、二つめの場面について学習をするために、二場面のプリントが配られる前には「きつこうなるんじゃないかな」と、プリントをもらう前からお話の先を想像する姿が見られました。プリントが配られると、じっと文章に集中して、読み進めていきました。登場人物がどんな気持ちだったのか、課題が出されると、自分の考えたことをノートにどんどん書き進めていきました。なかまの意見を聴き合う姿や自分の考

えをまとめる姿がとても素敵だなあと感じるとともに、「次はどんな展開になるだろう」「早く次が知りたい!」と期待する姿から、学ぼうとする意欲を感じることができました。



1年生 自分の意見や考えを大切に



1年生が生活科で、学校たんけんを行っています。この日の学習は、校長先生のお仕事インタビューです。「どんなお仕事をしていますか」「校長室にいないこともありますか」「好きな給食は何ですか」と、事前に考えていた質問を、それぞれ考えた子どもたちがしました。校長室に入る前には、「失礼します。よろしくお願いします。」と元気に挨拶。終わりに「ありがとうございました。失礼しました。」と、あいさつも自分たちからできました。

ひらがなを学習しているところですが、探検バッグのプリントに、一生懸命メモを取ろうとがんばりました。「質問をして、話を聞き取り、メモを取る」ことができた1年生。この時期までにも、いろいろなことにチャレンジしながら、どんどんできることが増えています。学校生活の中で、日に日に成長を重ねている1年生の姿でした。



たくさんの笑顔と頑張りが見られた授業参観～22日(金)フリー参観～



22日(金)には、2～3限めをフリー参観として、保護者の皆様や地域の方にご参観いただきました。朝から「今日はおうちの人があるんだ!」「緊張する。早く終わらないかなあ」とワクワク、ソワソワしていた子どもたち。授業が始まると、思いっきり体を動かしたり、ちょっぴり背筋を伸ばして、一生懸命にノートをとったり発表したりする素敵な姿がたくさん見られました。保護者の皆様の温かいまなざしが、子どもたちの何よりの励みになったようです。4月から1か月。子どもたちも自分らしさを出しながら学校生活を送っています。

おうちの方に見ていただくことで、さらに子どもたちの成長につながります。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。本日は、お忙しい中、授業参観にご来校いただき、ありがとうございました。

1学期も2か月ほど経過しました。普段の様子を見ていると、挨拶がしっかりとできるようになってきたこと、落ち着いて授業に向き合うようになってきたことなど、成長してきている様子を実感しています。子どもたちの様子につきまして、学校ホームページや学校だより「ふれあい」にて、お知らせしてまいります。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、学校教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

ごみの行方と自分たちにできること

～5月26日 4年生 社会科 クリーンセンター見学～



水沢地区内のごみ集積場の見学、パッカー車の見学に続き、私たちのくらしを守るための1つ、ごみ処理について学ぶために、四日市市クリーンセンターに社会見学に行きました。市内各地のごみ集積場から集められたごみがピットに入る様子やピットのごみが大きなクレーンでかき混ぜられる様子など、実際に目の前で見る光景を見入る子どもたち。社会科の教科書やのびゆく四日市など、資料や文章で学んできたことを見ることができ、スケールの大きさが実感できた

ようでした。職員の方からの話をきいたり、知りたいことを質問したりと、積極的に学ぼうとする4年生の姿が印象的でした。見学を通して、環境を守るためにも、自分たちができることを考える機会となりました。



クリーンセンターの見学の前には、四日市港ポートビルから港や四日市の町の様子、遠く山あいにある水沢地区を眺めたりと、県内で一番高い建物からの景色を楽しみました。シドニー公園の木陰での昼食。おいしくいただきました。朝早くからお弁当の準備をしていただきましたおうちの方に感謝ですね。

見学から帰ってきた子どもたちからは、「ごみ処理のことや環境を守るための仕事のことがよくわかった。」「自分たちで声を掛け合って見学のルールや

マナーが守れたことがよかった。」と振り返りました。みんなで学ぶためには、一人ひとりがルールやマナーを守ることがとても大切。4年生が自分たちで社会見学を成功させようと頑張ったことが実感できたようでした。



発見! 水沢っ子の素敵な姿!!

- 給食を食べ終わると、一人ひとりが食器の片づけをしていきます。片づけの最後には、近くの流しにいき、広げた牛乳パックをきれいに洗い、かごに乾かして、片づけ終了です。全員が洗い終わったあと、1年生の流しの下には、うまく洗うことができなかったのでしょうか。牛乳が流しの手前にこぼれてしまっていました。「後で先生がきれいに拭くからそのままいいよ」と先生が声をかけると、ある1年生が「私がふいておくよ」と言って、早速ぞうきんを取りにいき、きれいに拭きあげてくれました。失敗は誰にでもあるもの。自分の失敗ではなくても、みんなが使うところをきれいにしようと、声を上げてくれた1年生は、素晴らしいなあと感じました。
- 2年生の国語で、カタカナを学習している場面の出来事です。カタカナで表す言葉の1つ、外国からきた言葉を集めているときのことでした。一人の子が思いついた言葉を発表すると、その発表を聴いていた子が「確かに!」と反応しました。一生懸命、発表した子が安心する一言。次も発表しようという気持ちになりますね。学びたいという気持ちは、周りのなかまの温かさでも大事だと感じました。



(文責 岡本 浩樹)